



ホーンスピーカー一体型音声合成回転灯

リグナルボイス®

取扱説明書

TYPE : RT-VF

このたびは、**ハトライト リグナルボイス**。をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。保守・点検や補修などをとるときは、必ず本書を読み直してください。なお、ご不明な点は最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

1. 安全のために必ずお守りいただきたいこと

- 警告 配線・製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
製品の分解・改造をしないください。火災、感電などの恐れがあります。
配線は間違いないようご注意ください。配線を間違えると内部回路が焼損し、火災の原因になります。
電源は、必ず電圧許容範囲内で使用してください。火災や故障の原因になります。
工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

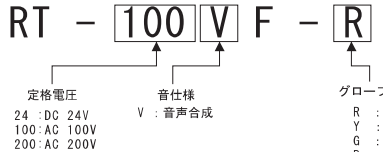
- 注意 電源回路及び本体内部回路保護のため、必ず外部ヒューズを接続してください。
電球は「9仕球」および製品の銘板に表示されている電球以外は使用しないでください。製品の故障や電源焼損の原因となります。
グローブは必ず閉めてから使用してください。反射鏡の回転による負荷、電球の熱による火傷などの恐れがあります。

警告及び注意事項に反したお取扱い、分解・改造や天災などによって生じた故障についての保障はできません。また本書に記載した内容以外での使用は避けてください。

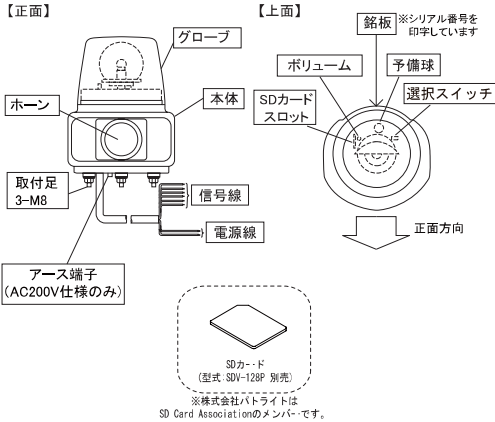
- お願い 強い電波や誘導ノイズのない環境で使用してください。ホーンからノイズが発生する恐れがあります。
腐食性ガスのない環境で使用してください。故障の原因となります。
静電破壊防止のため、体に帯電している静電気を放電してから、作業をおこなってください。他のアースされている金属部分を素手で触れると、静電気を放電させることができます。
各部品の取付けは、推奨トルク値におこなってください。
本製品を安全重視の保安目的で使用する場合には、必ず日常点検を実施し、万一の不具合・故障発生時に対応できるシステム設計をおこなってください。
グローブを外したままや割れたままで放置しないでください。内部に水や埃が入ると故障の原因となります。

著作権について
音楽CD、または他のメディアから録音あるいはコピーされた著作物を公衆・公共の場所で使用された場合、著作権侵害による法的処罰を課されることがあります。音楽CD、または他のメディアから録音、あるいはコピーされた著作物を使用する場合には、必ず著作権者の承諾を受け取ってください。
また、株式会社ハトライトが配布、または販売する音声・音楽データの著作権は、弊社に帰属します。
株式会社ハトライトの音声・音楽データの内容の一部、または全部を、権利者の許可なく複製・転載、またはネットワークなどで転送したり販売することを禁止します。

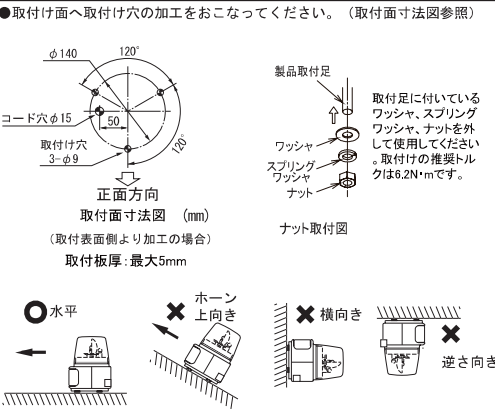
2. 型式表示方法



3. 各部の名称



4. 取付方法



- 警告 製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

- お願い 高所へ設置する場合は、補修のしやすい足場のある場所を選んでください。
電源に接続した状態のまま使用する場合は、安全のため本体近くに容易に電源を切ることができるスイッチを設けてください。
ホーン部を上向きに取付けしないでください。水や埃が入り、故障の原因になります。
横及び逆さ方向の取付けはしないでください。
配線時に電源線及び信号線を引っ張ったり、本体内部に押し込んだりしないでください。
振動の発生する場所では製品落下を防ぐため、取付ナットの締め付けの定期点検や、ねじロックなどの塗布をおこなってください。

- お知らせ 取付面の材質・厚さや、製品の再生音量により、取付面が共振し、振動音(ビビ音)が発生する場合があります。
振動が激しい場所で使用すると、電球寿命が短くなります。

5. 配線方法

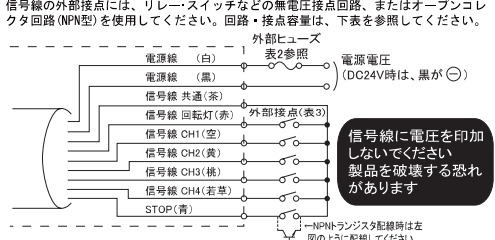


Table 1: Signal line circuit (無電圧接点回路). Table 2: Open collector circuit (オープンコレクタ回路). Table 3: Signal line connection capacity (信号線接続容量).

※AC200V仕様のみ
製品底面のアース端子を取り外し、アース線の先端に圧着端子を圧着して、圧着状態を確認後、アース端子取元の位置に接続してください。

- 警告 配線は必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
配線は間違いないよう注意してください。内部回路が焼損し、火災の原因になります。

- お願い 電源を入れる前に、配線が正しくおこなわれていることを確認してください。
ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。
複数のスイッチを制御する場合は、それぞれ接点を独立させてください。

6. 使用方法

6-1. 動作モード切替
選択スイッチにて、9種類の動作モードの選択が可能です。
6-1-1 動作モード切替手順
選択スイッチを変更するモードへ合わせてください。
電源を再投入してください。
各CHのメッセージを再生し、動作モードが変更されたことを確認してください。

動作モード (選択スイッチにて設定)
ビット入力モード: CH1~CH4を使用し、最大4メッセージまで再生できます。
バイナリ入力モード: CH1~CH4を使用し、最大15メッセージまで再生できます。
ビット入力減音モード: CH1~CH3を使用し、最大3メッセージまで再生できます。
バイナリ入力減音モード: CH1~CH3を使用し、最大3メッセージまで再生できます。
ビット入力後入力優先モード: CH1~CH4を使用し、最大4メッセージまで再生できます。
バイナリ入力後入力優先モード: CH1~CH4を使用し、最大4メッセージまで再生できます。
ビット入力ホルド再生モード: CH1~CH4を使用し、最大4メッセージまで再生できます。
バイナリ入力ホルド再生モード: CH1~CH4を使用し、最大4メッセージまで再生できます。
テスト再生

6-2. メッセージ登録

SDカード(型式SDV-128P 別売)、音声書き込みツール(FV-Win 別売)またはPATLITE プレリストエディタ(弊社ホームページより無料でダウンロード可能)を使用し、メッセージの登録をおこなうことができます。
6-2-1 メッセージ登録手順
グローブを反時計方向に回し取り外します。
製品の電源を入れてください。
カードスロットにメッセージデータを保存したSDカードを挿入するとビピと報知し、登録を開始します。
データの登録が完了すると、「ビピ」1回報知します。
※書き換えは60秒以内に完了します。「ビビビビ」「ビビビビ」と報知した場合は、何も反応のない場合は登録が正常に終了していません。「8修理を依頼される前」に確認してください。
※各CHのメッセージを再生し、正常に書き換えができていることを確認してください。

- お願い SDカードは、別売のSDV-128P型を使用してください。他のSDカードを使用した場合の動作は保証されません。
SDカードをフォーマットする場合は、FAT16でおこなってください。
製品本体・SDカードが破損する恐れがありますので、以下のことをお守りください。
カードスロットにSDカードを差し込みの際、SDカードの向きに注意してください。
カードスロットへSDカードを無理に押し込まないようにしてください。
SDカードを挿入したまま使用しないで下さい。
カードスロットに異物が入らないよう注意してください。

6-3. 音量調整

ボリュウムで音量調整が可能です。
グローブを反時計方向に回し、取り外します。「6-2.メッセージ登録」参照
内部にあるボリュウムを時計方向に回すと、音量は大きくなります。

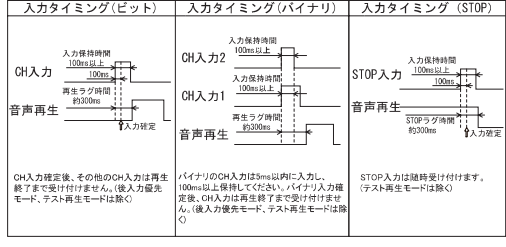
- お願い ボリュウムは、0.3N以上の上の力でまわすと破損しますので、軽くまわすようにしてください。

6-4. 回転灯動作方法

回転灯信号線と共通線を短絡している間、回転灯が動作します。

6-5. メッセージ再生方法

製品の電源を入れ、共通線と信号線CH1~CH4を短絡させると、メッセージが再生します。
100ms以上の短絡(バース入力)により、メッセージを1回再生します。
本製品を電源起動時に動作させる場合、再生まで約0.5秒かかります。
STOP入力、CH入力からメッセージを再生し、再生タイミングは全モード共通です。
動作については下表を参照してください。
ビット入力時、同時に2つ以上の信号線と共通線を短絡した場合、数字の大きいCHが再生します。
入力優先順位 STOP>CH4>CH3>CH2>CH1



- お知らせ 電源の入り切りや再生開始・終了時に、ポップノイズが発生することがありますが、故障ではありません。
複数のボタンを同時にスタートさせた場合でも、メッセージの再生にずれが生じます。

